

**経営理念**：利用者の『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

**保育の** 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

**方針** 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

**保育目標** ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

## 園だより

2023. 8. 8 文責: 榎並 理恵

### 自己肯定感を育む②～心配から信頼へ～

空を見上げると真っ白な入道雲がモクモクと気持ちがいいです。夏の音といえば蝉の鳴き声、風鈴、花火等を思い浮かべますが子ども達と一緒に夏の音も感じながら暑い夏を乗り越えていきたいと思えます。又、8月は広島、長崎の原爆投下、終戦記念日を迎えます。戦争と平和について小さい子ども達ではありますが考える機会も作ってあげたいと思います。夏本番を迎えると共に台風情報も多くなり心配もありますが疲れやすい時期でもありますので体調管理に心を配りながら過ごしていきたいです。

先日(4日)の祖父母交流ではたくさんのご参加を頂きまして有り難うございました。子ども達もおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に七夕飾りを作り、一緒に郷土料理の鶏飯を食べて始終、満面の笑みが見られ私達も幸せな気持ちになりました。今回、仕事等でご参加出来なかった祖父母の方もいらっしゃったと思いますが又の機会にご参加の方、よろしくお願い致します。

さて、先月、自己肯定感を育むという事で書かせて頂きました。自己肯定感とは自分の存在を認め、自分の弱い部分も受け入れられる、自分は自分のままでいいと思える心の状態の事です。自己肯定感とは、生きる上で大切な要素の一つです。自己肯定感を持っている人は人と比べて自分ではなく、自分を大切に思えるのでどんな時も物事を肯定的に捉える事が出来ます。人生の性格の土台を作る子ども時代。私達大人の関わりによって自己肯定感とは高くなり、低くなります。こう書いてしまうと難しく思われるかもしれませんが、子どもの個性や成長を見ながら長い目で見ていき、普段の生活の中で子どもと向き合い、見守り、子ども自身を認めていく事を心掛けていきたいと思えます。私も含め親、大人は我が子を思う余り、心配が先に出てしまいます。「失敗したらどうしよう、困ったらどうしよう」と思ってしまうがちです。でも、困難にぶち当たった時にこそ、子どもって自分を見つめ強くなっていく機会です。子どもは成長していく中でさまざまな問題に直面し解決する中で自信を持つと同時に達成感を感じていきます。この繰り返しの中で私達大人が心配するのではなく「失敗しても大丈夫。応援するよ。力になるよ。」と子ども自身を信頼し背中を押していく、認めていく事が子どもは「僕、私は親大人に大事に思われている」と感じ、この心を持つことが自己肯定感を育んでいきます。私自身、高校生の末っ子の事で頭を悩ませ、長男と比べてたりして本当に今も心配で仕方がありません。でも、子どもに言われました。「僕はお兄ちゃんではない。」と…。凄く反省しました。人と比べないようにと心掛けていたつもりだったのに。その時、しっかり、話し合いをして一先ず一つは解決しました。問題は山積みですが一つずつと思えます。

私自身、子どもを心配するのではなく子ども自身を認め、心配から信頼に変えていこうと思えます。かけがえのない大切な子ども達。一人ひとりの子ども達が自分らしく自分を大事に思えるように私達大人が出来る事を心掛けていきたいと思えます。

毎日、忙しいお父さん、お母さんですが子ども達へのぎゅうを引き続き、よろしくお願い致します。

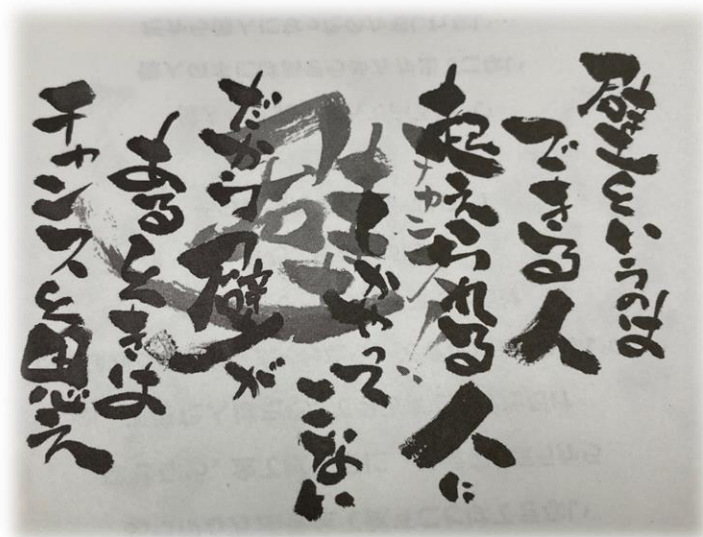
## ●8月の行事予定●

4日(金)祖父母交流(七夕飾り) 7日(月)避難訓練 8日(火)小運動会  
9日(水)お弁当の日(一品食材:オクラ) 10日(木)誕生会 18日(金)クッキング

○お願い○

洗濯物が多くなるので、衣服(特に下着類)には名前の記入をお願い致します。

## ❀詩を紹介します❀



「壁」という字は

音読みが「ヘキ」

訓読みが「かべ」

そして、先読みで「チャンス」と読む

不思議なもので越えられる壁しかあなたにはやって来ない

つまり、すごい壁が目の前に来た時  
あなたはチャンスの前に立っているんだ!

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主任保育士 榎並理恵

解決 責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂(099-482-2927) 横峯 友里子(099-474-1506) 山口 和美(090-5473-5866)